

「波野中学校の鎌踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	肝付町立波野中学校	
2. 学年・人数	1, 2, 3年生・約4人	
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年3月12日(水)～21日(金) 19:00～20:00 波野地区平後園集会場 ※水窪・津曲振興会, 和田振興会も棒踊りを同時期に実施している。</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年3月23日(日) 住吉神社, 平後園集落内の民家, 水神祠等</p>	
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 鎌踊り(かまおどり)</p> <p>(2) 由来 農民などの自衛術を踊りで表現したものとされ, その起源は戦国時代にあるという説がある。また, 起源については諸説あり, 「農耕儀礼」や「朝鮮出兵の凱旋祝賀」, 「薩摩藩が農民武装のため, 外敵に対して身近なもので攻撃防御ができるように武芸名踊りの形で仕込んだもの」ともいわれている。</p> <p>(3) 構成等 子供から大人まで着物姿に色鮮やかなたすきをかけて頭に鉢巻をしめ, 独特のリズムの唄にあわせて棒や鎌を振り舞う。薙刀と鎌が4人1組, 短長の棒が6人1組で棒や鎌を手にとって踊る勇壮で伝統的な踊りである。 ※参照: 肝付町HP「棒踊り・鎌踊り」 肝付町観光案内所「きもつきの棒・鎌踊り」</p>	
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>令和5年度には, 中学校の文化祭で地域の方々の御指導を受けながら発表を行った。鎌踊りの練習や話し合いには学校職員も参加しているものの, 地域から学校への協力要請はない。その理由として, 集落ごとに唄や踊りが異なるため, 学校への協力要請が難しいと考えられている。しかし, 今後は生徒数の減少が見込まれることから, 学校として何らかの支援ができないか模索している。</p>	
6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等)	 <p>【練習の様子】</p>	 <p>【当日の様子】</p>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習を通して, 伝統芸能だけでなく, 地域の方々から多くのことを学ぶことができた。本番では緊張したが, 練習の成果がしっかりと発揮できてよかった。この伝統を後輩たちにも引き継いでいきたい。(生徒)</li> <li>子供を通して, 改めて地域の伝統である鎌踊りに触れるよい機会となった。このような取組は今後も大事にしていきたいと思った。(保護者)</li> </ul>	